

「日本で流行する梅毒のゲノムタイピングによる報告数増加の原因分析」
(承認番号 28-33-1205) にご協力いただいている患者様へ

研究責任者：東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
安達 英輔

平素より私どもの感染症分野の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様のご協力を得て、東京大学医科学研究所感染症分野及び附属病院感染免疫内科では、2016年12月より標記の研究を行ってきましたが、この度、研究をさらに発展させるため、標記の研究を引き続き行うことにいたしました。

継続される研究においても、「日本で流行する梅毒のゲノムタイピングによる報告数増加の原因分析」(承認番号 28-33-1205) にご提供いただきました試料や診療情報を使用させていただきたいと考えております。

1. 研究の対象となる方

本研究は、下記の方を対象としております。

「日本で流行する梅毒のゲノムタイピングによる報告数増加の原因分析」
(承認番号 28-33-1205) にご協力いただいた方

2. 研究に用いる試料・情報の種類

上記研究にご提供いただいた試料（血液・脳脊髄液・スワブ検体）、診療情報

3. 外部への試料・情報の提供

上記試料及び診療情報の一部は、大阪市立大学へ提供します。提供は、匿名化した状態で輸送致します。個人情報については引き続き本研究所で厳重に管理いたしますのでご安心下さい。対応表は、当院の個人情報保護管理者が保管・管理します。

4. 研究期間

2021年3月24日（所長許可日）～ 2024年3月31日

5. 研究組織

【本研究全体の代表機関】

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科 安達 英輔

【本研究の分担機関】

大阪市立大学大学院医学系研究科 寄生虫学講座 城戸 康年

6. 研究参加の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

安達 英輔

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

TEL:03-5449-5338, FAX:03-5449-5427

E-mail; e-adachi@ims.u-tokyo.ac.jp